



北東中だより



巣立ち 夢 創造の時 春を迎えました

NO. 11

文責 仙洞田茂雄



素晴らしい卒業証書授与式

3月13日、平成28年度 第55回卒業証書授与式を、厳粛の中にも感動の式を行うことができました。教野教育部長様、田中PTA会長様より励ましの言葉をいただき、卒業生110名は新たな目標を持ち、自分の夢に向かい旅立っていきました。これまで保護者の皆様、地域の皆様に支えられながら健やかに育ってきた生徒も、いずれ地域で活躍できる人として、大きく成長していくことと思います。どうぞ今後とも温かく見守って頂きたいと思います。また、在校生にとっては、1年後の自分たちの姿を映す大切な1日となったことと思います。15歳の純粋な気持ちを受け止めた素晴らしい卒業式でした。(下記は「はなむけのことば」の一部です)

爽やかな風が吹き抜ける今日の佳き日

ここに平成二十八年度 第五十五回卒業証書授与式を挙行することができました

ご来賓の皆様のご臨席を賜り 卒業生の門出に華を添えていただきましたこと心より感謝申し上げます

今 中学校生活を 静かに振り返り その思い出の一つ一つの中に

新たな自分を発見し 成長した自分自身を見ることができたことと思います

そして 卒業を節目に新たな旅が始まります

詩人 坂村真民さんは、自分を鳥にたとえ3つの言葉を体につけて人生を飛んできたと言います



鳥の体にあたる一つ目の言葉は 「念ずれば花ひらく」

これは初心を忘れず、夢を諦めないということ 苦しいとき 母がいつも口にしていた

この言葉を思い出すたび私の花が不思議とひとつひとつ開いていったというのです

右の翼にあたる二つ目の言葉は 「二度とない人生だから」

それは 今この瞬間 二度と戻らない青春時代 悔いの残らないように 精一杯生きる決意の言葉です

そして 左の翼にあたる三つ目の言葉は 「めぐりあいの不思議」

人生は出会いの繰り返し 運命的な出会いや人生の転機となる出会いによって

人は豊かな感性をもって成長していくのです



もうだめだと思うとき 飛ぶ力がなくなりそうになったとき

この三つ言葉に励まされ 支えられ 人生という

大きな果てしない空を飛んできたと言います

皆さんも、今日の決意を胸に 大きな翼を広げ

羽ばたいてほしいと願っています

卒業する百十名の皆さん 雲一つない真っ青な空の中

それぞれの夢に向かい染まらず力強く羽ばたいて下さい

人生という新たな旅 世界を教室にして

自分自身の可能性を翼に未来を切り開いて下さい

皆さんの限りない前途を祝福し 今後の活躍と健康を

心からお祈りし はなむけのことばといたします

平成二十九年三月十三日

甲府市市立北東中学校 校長 仙洞田 茂雄



生徒会本部 活動開始! 三年生に贈る会 大成功に終わる!



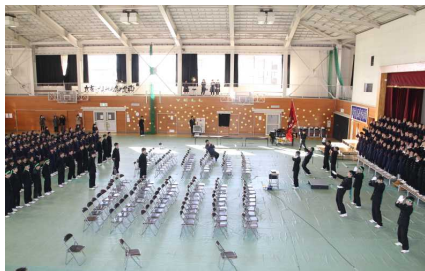
オープニングのひとこま



生徒会本部へと引き継ぎ



3年生110名による合唱



1・2・3年生 最後の応援



エンディングの様子



1・2年生による人文字

生徒会本部が結成されて初めての行事でしたが、在校生が力を合わせて大成功のうちに終了することができました。卒業していった110名の3年生は、きっと心のどこかで感謝し、飛躍を心に誓い、後輩へこの伝統を引き継いだことと思います。来年度の生徒会本部全員が揃いましたので紹介をし、小林幹治君より三贈会の感想を含め掲載させていただきます。

三贈会を創りあげて ～終わりではなく 新たなスタート～

生徒会副会長 小林 幹治

私たち生徒会が結成されたのは2016年12月26日。2学期の終業式の日でした。その日から、三贈会本番までの75日はとても長いようで、でもあっという間でした。「一月は行く、二月は逃げる、三月は去る」とよくいわれますが、まさにその通りで、生徒会が結成されたことが昨日のこのように感じられます。三贈会へ向けての取り組みは、2月1日の1・2年生合同集会から始まり、そこから毎日のように生徒会役員は話し合いを重ね、各担当の人たちも本番に向けた物品の作成や練習を行ってきました。そして、テーマも「YELL～つなげる293の想い 受け継ぐ北東魂～」に決定し、そのテーマを意識しながら活動を行ってきました。

そして迎えた本番。「卒業する3年生に YELL を贈ることができるように、そして、卒業前最後の二葉会の行事として最高の思い出になるように準備・練習の成果を出しきる」という気持ちをもって、みんなで創り上げた三贈会になったのではないかと思います。さて、三贈会終了後の会長の話にもありましたが、三贈会は終わりました。しかし、全てが終わったわけではありません。生徒会では、ここが新たなスタートだと考えています。今回の三贈会の中で、「繋」ということを再度意識し、これまでの伝統をつないでいくことを宣言しました。三贈会の動画にも出てきた「ダスキン清掃」。現状を見ると少し甘くなっているような気がします。「チリも積もれば山となる」という言葉があります。毎日少しずつのダスキンが積み重なっていけば、映像にあったような未来が待っているような気がします。3年生から受け継いだダスキン清掃。まずはここを徹底させて2・3年生に進級できたらと考えています。三贈会での経験を自信にして、これからの新しい北東中学校をスタートさせていきたいと思っています。



平成29年度生徒会本部役員

会長	: 小澤明門	副会長	: 小林幹治	興水奏羽
事務局長	: 長田さくら	事務局次長	: 若尾哲志	
書記会計	: 五島春菜	体育文化局長	: 堀内晶貴	
		議長	: 武井大和	田代 麗



小中連携事業 英語出前授業！



今年度も残りわずかとなりました。3年生が卒業し、4月には1年生が入学してきます。その新入生が不安なく、できるだけスムーズに中学校生活を送れるように今年度も様々なことを行ってきました。

そして、3月15日・16日に、本校3年主任英語科石井久美先生、同じく英語科上田浩司先生が、相川小学校・新紺屋小学校で出前授業を行いました。最初はやや緊張ぎみだった児童たちもしだいにリラックスし、授業に取り組みました。どの児童も、元気に取り組んでいる姿が印象的でした。入学と同時に、いよいよ英語が本格的に始まります。授業への意欲を持たせ、

課題を克服していけるよう、私達も一生懸命取り組んでいきたいと思ひます。



学校関係者評価委員会 よい



今年度皆様より頂いたご意見等をもとに、2月21日評議員・民生委員の皆様との評価委員会を開きました。その中で出たご意見など一部を紹介させていただきます。
生徒の様子について



- ・校内の清掃がいつも行き届いていると思う。・あいさつは、以前の方が元気がよかった気がする。
- ・小さい声の生徒さんもありますが、良く挨拶をしてくれます。
- ・自転車通学の生徒の皆さん、ヘルメットはきちんとかぶっています。しかし、下校時は下り坂でだいぶスピードが出ているので気を付けてください。

教職員や学校の取組みについて

- ・文学館や科学館の資料が展示してあると、生徒だけでなく来訪した人にもためになるので、良い取り組みだと思う。
- ・甲府市内において北東中学校生徒の評価は非常に良いと耳にして、素晴らしいと感じております。このような状況の中で私が少々気になった点を説明したいと思います。県道愛宕山公園線、護国神社入口バス停より東側で両側に歩道がある道路で、車道側を2・3人で並列して歩いている生徒を見受けました。歩道にも多くの生徒が歩いており、車道を歩くのは一部の生徒だと思います。先生方をお願いします。週に1回程度のパトロールが必要だと思います。生徒の安全のためにも検討をしてください。
- ・先生方が来訪者に人見知りするようで、挨拶がありません。



学校と家庭・地域との連携を目指す取組みについて

- ・学校開放日は、土曜日や祝日など多くの人（父親や小学生）が参加でき良いと思う。
- ・地域と連携した防災訓練ができればいいと思う。
- ・地域清掃活動を見て、小学生低学年がホーキをもって何をしていたかわからずその場に立っておりました。そこにボランティア袋を持った中学生が来て、木の葉をこの袋の中に入れてと指導していました。この小学生は、これから中学生になったら同じように小学生にいろいろなことを教えることでしょうか。小学生と中学生の交流の場をこれからも多く行うことを期待します。
- ・地域の自治会回覧板で、学校の様子をお知らせいただいております。新しい試みをいろいろなさつていることは生徒や学校の可能性を伸ばすことにつながり、素晴らしいと思います。



本校教育、生徒の素晴らしいと思われ点について

- ・部活動を一生懸命頑張っている。地域で見ていると、朝早くから活動している様子がうかがえる。学校だより等で結果を見ても、多くの生徒が成果を上げているのがわかる。また、登下校の様子を見ていると、服装が整っててすがすがしい。自転車通学の生徒も、みんなヘルメットを着用してよい。
- ・行事に一生懸命取り組んでいる。今年も何回か学校へ来させてもらったが、その都度生徒のがんばっている様子を見ることができた。二葉祭での長縄跳びに取り組んでいる姿を見て感動した。みんなで助け合い声掛けあって励まし合っている姿は素晴らしいと思う。
- ・悪いところを指摘させてもらったことがあったが、その点がすぐに改善されていて驚いた。素晴らしいことだと思う。具体的には、下校時車道に並列で広がって歩いていたことがあったが、すぐに改善された。今後もそういった姿勢でお願いしたい。

本校教育、生徒の問題点、課題であると思われる点について

- ・下校時、急な下り坂が続き、自転車通学の子供たちは、どうしてもスピードが出すぎてしまい、危険だと感じることもある。また、交差点では、一時停止をして安全確認をしなければならないと思うが、一時停止せずに右左折している様子もかえる。自転車の安全運転について意識させられたら良いと思う。
- ・徒歩通学の子供たちは、通学路が狭い中で並列(横に広がって)に歩いているところを見かけることがある。車両の通行の妨げにもなるし、危険であるので注意喚起が必要である。

その他

- ・本校はもちろん、市内の中学生も、落ち着いて生活していると聞くと、昨今中学生年代の事件を耳にすることが多く、生徒が動揺してはいないか心配である。また、こういった事件を耳にして本校生徒が刺激されないか心配である。
- ・地域防災について、学校では、子供たちが地域の中で中心になって役立てるように学校ではしていきたい。そのために地域の防災訓練に積極的に参加させていきたいと考えている。
地域においても、ぜひ中学生に力を発揮して活躍してもらいたいので積極的に地域防災訓練に参加させてほしい。

以上のようなご意見、感想等を頂きました。成果や課題を更に生かし、来年度への学校教育に生かしていきたいと考えております。

ある電話から



3月14日、第一交通のタクシーの運転手さんから電話がありました。「今日夕方武田通りで、雨の中、腰が曲がり、荷物をもって歩くのも大変だったおばあちゃんに会い、女子3名男子1名が、荷物を交互に持ち、自分達はびしょ濡れになっても、おばあちゃんが濡れないように傘をさしてあげ、タクシーに乗るまで助けてあげていた。いまだき素晴らしい子ども達だなと感心したので誰か探して表彰してほしい」 早速確認し・・・。

1年1組若林愛さん 1年2組佐藤星舞さん 1年2組森田葉月さん 2年2組下條正貴くんの4名であることがわかりました。早速校長室で話を聞きました。これからも生徒の模範となるよう頑張ってくださいと話しました。雨の中、素晴らしい生徒に感激です。さすが、北東中生です。

春休み総まとめと来年の決意 自主学習ノート年間パーフェクト 23名！

自主学習ノートへの取り組みは4月から始まりました。1・2年生184名がそれぞれの目標をたてて宿題以外の勉強に取り組む学習習慣をつくり、学力向上に努めようとする目的で行っています。4月から土日、年末年始も1日も休まず「自主学習ノート」に取り組んだ生徒は23名いました。それに近い生徒を含めると、更にその数は多くなります。23名の中の1人の生徒は、「毎日続けることで、自主学習を楽しんでできるようになった。そして、テスト前学習時間でみると、1学期中間では13時間、2学期中間では22時間、2学期末では83時間、3学期末では67時間と飛躍的に伸びて、集中できるようになった。1学期を反省し、2学期は「量」3学期は「質」にこだわった。」と振り返っている。

この春休みは全員がこの1年を振り返り、来年への決意をしっかりと胸に刻み、新年度を迎えてほしい。「継続は力なり」「今やらなくていつやる！」 頑張れ北東中生！ 1年後、2年後 期待しています。

最期にこの1年、学校だよりを通し、本校の教育活動を紹介しながら、地域に根ざす学校教育を目指し、職員一同取り組んできました。しかし、まだまだ取り組まなければならない課題は山積しております。今後とも保護者・地域の皆様のご協力を頂きながら北東教育を更に推進していきたいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

1年間ありがとうございました 北東中学校職員一同

今後の予定

3月24日	修了式 離任式
4月6日	入学式
7日	新任式 始業式 対面式
18日	全国学力学習状況調査 県学力把握調査
19日	新旧学校委員会 P 専門部会
21日～26日	家庭訪問
22日	学校創立記念日
29日	昭和の日

